

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：☐グループホーム ・ ☐小規模多機能型居宅介護

☒地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護

日 時：令和 6 年 6 月 7 日（金曜日）10 時 00 分～11 時 00 分

場 所：しおさい会議室

出 席 者：5 人

利用者代表	0 人	知見を有する者	0 人
利用者家族	1 人	大田市職員	1 人
地域住民の代表	2 人		
事業所職員（職名：施設長 主任 ユニットリーダー ）			3 名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 18 名（退所 0 名 入所 2 名 定員 20 名）
- ② 要介護度 要介護 5 10 名 ・ 要介護 4 8 名
要介護 3 0 名
- ③ 男女比率 男性 3 名 ・ 女性 15 名
- ④ 年齢 65 歳～101 歳 平均 89.1 歳

介護状況

- ① 起き上がり全介助 14 名
- ② 胃瘻 0 名
- ③ 排せつ全介助 17 名
- ④ チェアインバス：ストレッチャー入浴 10 名：8 名
- ⑤ 肺炎入院 0 名
- ⑥ 褥瘡 1 名（病院で形成 徐々に改善）
- ⑦ 重度拘縮 0 名
- ⑧ 苦情相談 0 件
- ⑨ 身体拘束 0 件

⑩ 受診以上の介護事故 0 件

新型コロナ感染症対応状況

1、施設長挨拶

インフルエンザ、コロナの発生、影響等は無し。順調にサービス提供できている。

2、感染状況

	感染対応の概要	
	インフルエンザウイルス	新型コロナウイルス
利用者罹患	0 名	0 名
職員罹患	0 名	0 名
受診・入院	0 名	0 名
介護	通常対応中	
面会	通常対応中 一般 : 面会室 5 月 81 件 看取り : 直接面会 週 1 回、15 分としているが、可能な限り融通している	
外出	外部受診 : 家族協力によるもの 0 名 施設送迎によるもの 0 名 一時帰宅 : 0 名 職員付き添いのない外出時は 3 日間居室過ごしを依頼	
検討中事項	直接面会の対象範囲拡大について内部協議中。	

3、ユニット活動状況

・家族が誕生日ケーキを持参され一緒にお祝いした。入所してすぐの頃は、ベッド上での生活だったが、日を追うごとにリクライニング型車椅子に座る事が出来るようになり、

リビングで皆さんと食事することが出来るようになり、普通型車椅子に乗って生活できるレベルに元気になられた。また、入所時は食事は介助を受けていたが、自分で食べる事ができるようになり、誕生日ケーキもご自分で召し上がられていた。その人に合わせた生活環境を整えることで施設生活にも慣れて笑顔がでるようになったと感じる。

- ・娘様より母の日のカードが届き、本人様のお気に入りの席から見えるところに飾って毎日眺めておられる。

- ・その人の状態に合わせて、手や足の体操をユニットで実施している。

- ・5月14日喫茶おもひでを開店した。午前中から利用者と一緒にお菓子の盛り付けや飾りつけを行い、準備から実施まで一緒に行う事ができた。好きな時間にきて、好きなお菓子を選んでその場の雰囲気も楽しんでおられた。陶器のおしゃれなコップで提供するといつものコーヒーもより美味しく感じられるようで、「美味しいね」と会話も弾んでいた。今後も継続して行っていく。

- ・7月におやつレク企画を検討している。

4、活動状況

5月10日 消防立入調査 指摘事項なし

5月15日 第1回 防災訓練 地震初動訓練

テレビを付けて情報収集、頭を守るために近くにある毛布を配る。ライフジャケットを着用（利用者がどこにいるのかの目印にもなる。）、非常口の確認、落ち着いて行動するように都度声かけ、火元確認、利用者の緊急連絡先が入っているタブレットや携帯をひとまとめにする、などユニットごとに実施した。

→その後リーダー会議にて話し合いを行った。初動マニュアルが整備されておらず、マニュアルが必要とわかった。有事の際はタブレットを持って避難するようにしていたが、Wi-Fi環境がないと使用できないため利用者の緊急連絡先の持ち出しに関して検討が必要。

5月24日 第2回 防災訓練 島根県災害被災状況連絡訓練に参加（インターネット報告手順確認）

5、意見交換

（地域住民代表）

知り合いの面会に行ったら、自分のことがわからなくて悲しかったが、肌艶が

よかった。食事の進みがよいのだろうか。

(家族代表)

母親は、ショートステイで転倒して特養へ入所に至った。家では私が全て行っていた。特養へ入所したときは介助が必要だったが、入所して元気になった。体重も5キロくらい増えた。感謝している。

→(施設長)

口腔ケアにも力を入れている。誤嚥性肺炎もほとんどない。

(家族代表)

(写真をみて) 母親が割烹着を着ている。家ではこんなこと(盛り付けたり)できなかった。出来ることをしてもらう方がいい事はわかっているのだが、どこまでしてもらってよいのかわからず怖かった。包丁も持たせるのが怖かった。

→(介護主任)

割烹着を着ると雰囲気が出て良い。

→(ユニットリーダー)

ちょっとしたきっかけづくりで出来る事や得意な事が発見することがある。入所前の生活の様子を家族から情報収集、そして入所での生活の様子を情報共有しながら試行錯誤しながら利用者一人ひとりにあった生活のお手伝いできたらと思っている。

(ユニットリーダー)

今年度、男性介護者を対象とした介護教室を開催する。自宅で介護されて大変だった事や今後自宅で介護が必要になったときに知りたいことなど意見を聞かせて欲しい。

→(家族代表)

どこまでやってもらっていいのかわからない。洗濯物畳みが得意だか、物干し台まで取りに行こうとするとふらついたり、物につまずいたりして危ない。しかし自分ではできると思ってる。トイレも自分でいけるというが、そんなわけにいかない。行けるのはわかっているが、伝い歩きできるように環境を整えていたが、、

また、何を相談して良いのかもわからない、介護者同士で話が出来ることがあればいいかもしれない。話をしていたら、そこから困っていることなど出てくると思う。つい、母親が出来ることを私がしてしまう。なのでショートやデイサービスへ行くと元気になって帰ってくる。あとは、母親の気持ちを聞かずにい

た。本人の気持ちをきけばよかったと思っている。技術はプロじゃないし今はYouTubeで介護技術の動画をみることもできるが、そもそもどこをもって立ちあがるなど、そこからわからない。家族だから腹も立つこともあるしつい大きな声がでてしまう。自分も言いすぎてしまったと反省してしまう。父と息子、母と息子は関係性も異なる。コミュニケーションの取り方も様々と思う。

（地域住民代表）

男性は女性と比べて家族とコミュニケーションをとってきていないこともある。コミュニケーションの取り方は知りたい。自分でできることを取り上げると認知が進むことも分かるが、どこまでできるのかわからない。

→(ユニットリーダー)貴重お話をきかせて頂きありがとうございました。介護教室の内容の参考にさせていただきます。

6、 その他

- ・(市役所職員)上手にIT活用して介護現場のスキルアップにつなげてほしい。

別紙案内添付

- ・施設内視察実施

次回予定 令和6年8月2日（金曜日）10時～11時